

第3学年3組 算数科学習指導案

1 単元名 たし算とひき算の筆算 (本時9/10)

2 本時の学習指導

(1) 本時の目標

3口の加法を簡単に計算するための方法を考えることができる。(思考・判断・表現力等)

(2) 児童を「納得」へと導く、具体的な手だて(「納得ポイント」)

「順に計算する」「100のまとまりをつくって計算する」どちらの方が早くて簡単に計算できるのか、両方試して考える。

3 本時の指導計画

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (5)	1 本時の問題を把握する。 ・式は $237+38+62$ だね。 ・計算が大変だったよ。	・本時は文章から式をたてて計算することを伝える。 ・順に計算して、答えを求めるように伝える。
課題 (1)	3つの数をどのようにたし算するとよいのかな	
展開 (35)	4 3つの数のたし算の仕方を考える。 (1) 個人で式や言葉などを用いて考えた後、よつばで伝え合う。 ・計算する順序を工夫すると、簡単に計算できるよ。 ・ $38+62$ を先に計算すると、100のまとまりを作ることができるよ。 (2) 学級で伝え合う。 ・順にたすと、計算をするのが難しかったよ。 ・計算する順序を工夫すると、簡単に計算することができたよ。 (3) 練習問題に取り組む。 ・ $56+44$ を先に計算すると、100のまとまりになるよ。 ・一の位が0になるような数を探せばいいんだね。	【主発問】3つの数のたし算のしかたを考えよう。 ・10や100などのきりのよいまとまりをつくって考えるよさを引き出すために、どうして100のまとまりをつくろうと考えたのか、問う。 ・ミラーリングをして、児童の考え方を学級で共有する。 ・自分の考えを伝えることのできた児童を称賛する。 ・合わせて100を見つけるためには、どこに着目すればよいのか、と問う。 【追発問】「順に計算する」「100のまとまりをつくって計算する」どちらの方が早くて簡単に計算できるのかな。 ・両方試して、 <u>どちらの方が早くて簡単にできるのか考えるように伝える。</u> ・たす順序を工夫して、計算に取り組むように伝える。 ・無理に一つの式で表す必要はないため、2つの式にわけて考えてもよいことを伝える。
整理 (4)	5 本時のまとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">3つの数のたし算は、順序を工夫すると、簡単になることがあると分かったよ。</div>	・声を掛けながら個の思いを価値付ける。 ・意図的指名で本時のまとめを発表するよう伝える。

4 評価

・図、式、言葉などを使って3口の加法を簡単に計算するために、計算の順序を工夫することができたか。(活動4の(1)ノートの記述、よつばでの話し合いの様子から)